

鳥羽高校（全日制）のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

京都府教育委員会が本校の存在意義、期待される社会的役割、育成する資質・能力および人材像を「スクール・ミッション」として策定し、これに基づき、本校では令和6年5月に、次の三つの方針を「スクール・ポリシー」として決めました。

スクール・ミッション（社会的役割等）

グローバル科、スポーツ総合専攻を含む普通科を設置する高校として、高大社連携による探究活動や伝統文化活動、国際交流、地域と連携したスポーツ活動等によって、質の高い学力の育成と個性の伸長を図り、国際社会で活躍する人材を育成する。

スクール・ポリシー（三つの方針）

1 育成を目指す資質能力に関する方針（このような力を育てます）

- ・豊かな人間性をもった人を育成する。（人間性）
- ・国際感覚を身につけ、創造性あふれる人を育成する。（先駆者精神）
- ・自らの課題を自ら解決する意志力と実践力をもつ人を育成する。（克己）

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（このような教育活動を行います）

- ・基礎・基本となる知識・技能を着実に理解・習得させるとともに、社会の諸事象と関連付けつつ教科横断的に学ぶことができる教育課程を編成する。
- ・少人数授業の特長を生かし、対話や議論を取り入れた探究的な学びを実践し、主体的に学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
- ・京都府の伝統文化、歴史、産業についての学びをとおして自己を見つめ直す機会を設けるとともに、社会的課題を自分ごととして捉えて解決に取り組む力を育む。
- ・高大社連携や国際交流をとおして、高度で先進的な学びを推進するとともに国際社会における自己のキャリアを形成する力を育成する。
- ・国内外の様々な人々との協働的な学びをとおして人権感覚・国際感覚を養うとともに、多様な価値観を尊重する人間性を育む。
- ・様々な学校行事や部活動等の教育活動をとおして、リーダーシップ、協働する力、未来を切り開くたくましさを身につけさせる。

3 入学者の受入れに関する方針（このような生徒を待っています）

- ・自律的に高校生活を送り、多様性を受け入れつつ自分も他者も大切にできる生徒
- ・身のまわりの現象や社会の諸事情に興味・関心があり、高い志を持つ生徒
- ・学業、行事、部活動などで仲間と切磋琢磨し、ともに成長しようとする生徒